

Information

『-Nikon Presents- Vertical Movie Award 2025』の受賞作品を発表

- 「Create New Timeline」をテーマに作品を募集した縦型動画アワードのグランプリが決定 -

2025年3月3日

株式会社ニコンの子会社、株式会社ニコンイメージングジャパンは、株式会社 Vook(代表取締役 CEO: 岡本 俊太郎、東京都渋谷区)が運営する日本最大級の映像制作 Tips サイト「Vook」と開催した"縦型動画の代名詞"となる映像作品を決めるアワード『-Nikon Presents- Vertical Movie Award 2025』の受賞作品を発表しました。

特設サイト URL: https://site.vook.vc/nikon-vertical-movie-award/2025



「-Nikon Presents- Vertical Movie Award」は、SNS の普及で時代のスタンダードとなった縦型動画の作品を募集し、その代名詞となる作品を決定する縦型動画アワードです。「Create New Timeline」をテーマに作品を募集し、応募規約に沿った厳正なる審査の上、ノミネートされた 20 作品の中から、グランプリならびに各賞の作品が選出されました。

グランプリ クリエイティブ支援賞 WELLP 部門 Jo 氏「Second Chance」

グランプリ賞品 : 賞金 50 万円・ニコン Z6III 24-120 レンズキット・NIKKOR Z 135mm f/1.8 S Plena・CFexpress Type B メモリーカード 660GB MC-CF660G

クリエイティブ支援賞 WELLP 部門賞品:動画企画プレゼンテーション権利・WELLP(ウェルプ)のシャンプー・トリートメント・ローション (提供:株式会社 I-ne)



■選評

小原 穣氏:

最高です!次世代の才能を感じさせられました!

映像は今回の作品群の中で最も美しくて、一気に物語に引き込まれました。

主人公の心情の変化を言葉や大袈裟なお芝居で表現するのではなく、

映像美と編集の妙でとても丁寧に描いているなと思いました。

ラストの愛犬と対峙するシーンは、縦型のスクリーンの中に美しいシンメトリーな構図で切り取られていて鳥肌が たちました!

志村 優氏:

縦の画角は「日常」「等身大」「生々しさ」を高い没入度で感じさせやすいが、この作品は縦画角の生感を活かして初めて見た時点で「日常に存在していたはずの何かが欠けている」ことを強く感じられるように作られている。冒頭の演出のようにカメラワークがぐっと奥に寄っていく動きも縦画角の映像の視聴維持率を高める要素の一つで、没入させるための工夫が随所に鏤めてありとても魅力的な作品でした。

中根 さや香氏:

構成にメリハリがあり、すべてのシーンで過剰な演出を施すのではなく、必要な場面で巧みに演出を加えるセンスが際立っていました。

また、音や音楽の使い方が映像と見事に調和し、観る者を引き込む重要な要素として機能していました。 映像に対する鋭い感覚と真摯な姿勢にも深く共感でき、今後の作品への期待がますます高まる、心に響く素晴ら しい作品でした!

> 準グランプリ 加藤 慎氏「生ききる」

賞品:ニコン Z6III 24-120 レンズキット



審査員賞 小屋根 照之氏「SENSOR」



審査員賞 伊藤優太氏「走馬灯」



審査員賞 丹野 雄太氏「TIMELINE-23」



Nikon Creators 賞 KAKERU 氏「Build」



映像美作品賞 Summery Bird Cakes Film 氏 「日常という名の箱庭」



ニューフェイス賞 水野 凉氏「あこがれのたび」



バーティカルアイデア賞 近藤 康太郎氏「決めて」



クリエイティブ支援賞 CHILL OUT 部門 マエフリ氏



クリエイティブ支援賞 Nikon 部門 荻 颯太郎氏「who」



受賞作品の詳細ならびに他のノミネート作品は本アワード特設サイトからご覧いただけます。

株式会社ニコンイメージングジャパン PR 事務局

ビルコム株式会社 担当:弓野・長崎

TEL:03-5413-2411/FAX:03-5413-2412/Mail:<u>nikon-press@bil.jp</u>

本プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。